

前回審議会での委員発言概要と対応

◇奈良県スポーツ振興のビジョン・基本理念

項目	意見概要	対応の方向性
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのもつ価値・効果について、とりわけ「価値」についての内容は新鮮に感じた。「楽しさ」の見出しや個人の健康が社会にどう作用していくのかについての記載も気に入っている。 	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が団結し、楽しくスポーツに取り組む意識を向上させねば、国スポがアスリートだけの大会になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柱2の4に、「観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出」項目を追加。スポーツを楽しみと感じるきっかけをつくる。 ・運動・スポーツが好きな子ども（小5、中2）の割合を指標に追加。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン等「健康長寿」の言葉が入ることで高齢者に特化している印象。 ・例えば、基本理念に沿って、対象者別に目標を掲げる等ターゲットを絞って挑戦を具体化することも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツが好きな子ども（小5、中2）の割合を指標に追加。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・こまやかな指標が必要。医学面、人の価値、ウェルビーイング、QOL等の観点も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を新たに指標に追加。

【全般】

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは楽しいことが前提で基本理念に謳われているが、柱に入るとその要素が薄い。 ・「楽しみ」は幼児期や児童期がメインになるのでは。 ・スポーツの語源は遊びや気晴らし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柱2の4に、「観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出」項目を追加。スポーツを楽しみと感じるきっかけをつくる。 ・運動・スポーツが好きな子ども（小5、中2）の割合を指標に追加。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンで地域防災力強化とあるが、柱に入ると「防災」の記載が見当たらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柱3-1-(5)に、施設の防災機能等について記載。

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進をテーマにスポーツについて話されているが、健康とはどのような状態を表しているのか、エビデンスが要るのではないか。 健康を表すデータを示すために、医療や病院との連携が施策に入っているといいのでは。 何分運動したかというより、血液検査等の数値目標等、運動した結果、健康な人が増えた、というような指標を設定してもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命を新たに指標に追加。
全般	<ul style="list-style-type: none"> 審議会委員の意見がしっかり整理され、充実した資料になっている。 	

【柱1 健康増進のためのスポーツの推進】→スポーツ活動の推進 に題名変更しています

1 県民参加型スポーツの推進

項目	意見概要	対応
目標	<ul style="list-style-type: none"> 「目標・心身の健康維持」を「身心の」にしてもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の表現で対応
(1)等	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブは一時期は勢いがあつたが、淘汰されてきた。 単一種目で頑張っているクラブが馬力をもって活動しているのでは。 部活動の地域移行の動きもあり、人材面で行政からのサポートが必要。協働で取り組むことも可能。 特に過疎地域では行政のバックアップがないと自立型で活動するのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の参考とさせていただきます。
(1)等	<ul style="list-style-type: none"> 子育て施設や幼児期のスポーツについて、総合型として、女性を絡めて取り組もうとしているが、イベント的取組にとどまっている。様々な人と連携しないと厳しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体のニーズに応じ、アドバイザー等の活動により支援を継続する。
(1)等	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブは、これまで無償で県内幼稚園等を回ってきたが人材確保が厳しく、予算面等行政の支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、総合型地域スポーツクラブへの支援方法を検討
指標	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの数が増えるより、質やマンパワーが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 山間部の住民が減少しクラブがあっても活動できない地域もあり、複数地域でのクラブの共同運営等、市町村と協力が必要。(木村次長)

項目	意見概要	対応
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はスマホで「歩数」をカウントしている人も多い。これらの数値も設定可能では。学会等の指標があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩数の指標については、現在は都道府県別でのデータがなく（厚労省の国民健康・栄養調査による全国統計はあるが、都道府県別でデータが示されていたのは平成28年まで）、数値を測るのが難しいため、「健康寿命」を新たな指標に追加。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブで地元の体力測定10数年やっている。 ・総合型クラブは奈良県に相当数あるので、体力測定を幅広くやることで、数値を拾えるのでは。ただ、継続していくのは大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ楽しくスポーツをしたい人のための環境がない。 ・本格的に取り組むか、やらないかで二極化しているのをどうにかするべきでは。 ・スポーツを楽しむことは、スポーツを続けるには不可欠の要素。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを楽しみたいという人の「場所」「選択」を増やすため、垣根のない、だれもが簡単に気軽にスポーツができる「地域スポーツの場」づくりに取り組む
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発表の機会を設けすぎて、スポーツを続けるには逆効果では。静かに身体に向き合うスポーツ、体と対話する時間がある方が長続きするのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁の運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインや奈良県部活動の在り方に関する方針等を踏まえ、子どものスポーツについて、個人の特性に応じた指導が行き渡るよう、関係者の連携を図る。

2 子どものスポーツの推進

項目	意見概要	対応
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期は「遊び」優先。「(1) 幼児期のスポーツ(運動・遊び)の推進」を「・・・(遊び・運動)・・・」にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見のとおり、表記を修正。
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行について、だれがイニシアティブをとって動いているのか見えない。(先生、保護者、地域スポーツクラブ等) 取組順序や計画を明確にしてもらいたい。 ・総合型地域スポーツクラブが受皿になるとしても費用は受益者負担か行政支援か見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や関係者への説明が必要と考え、市町村へのアンケートを実施予定。 ・県関係機関で連絡協議会を設置。今後は各役割に応じた対応を進める。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しみ」と関連して、子どものスポーツの指標が体力合計点にとどまっている。エビデンスが難しいが力を入れてもらいたく、再考を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツが好きな子ども(小5、中2)の割合を指標に追加。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもを対象にした指標の視点が欠けている。1日60分以上楽しく体を動かす子どもの割合等、調査をしてはどうか。既に研究しているものも活用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の遊び・運動については、まほろば健康パークの機能強化をはじめとする施設整備や、幼児向け運動・スポーツプログラムの普及といった、環境面での充実をまずは図りたい。

3 生涯スポーツの推進

項目	意見概要	対応
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・30代でスポーツをやるのが止まる。奈良県でサッカーの30代リーグだけがない。体力測定等、30～40代を対象にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代、子育て世代がスポーツを続けられるよう、運動・スポーツの機会創出に努める。
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康面とスポーツの関係を考えると高齢者の関わりが多くなる。ロコモ対策でどのような運動がよいか等が考えられる。機械が必要な取組は普及しないため、ロコモチェック等を取り入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・県下では町単位でいきいき体操をつくる等の取組が住んでいる。 ・フレイル、サルコペニア等について、スポーツすれば効果があるとのエビデンスが外国にあるが、捕捉のためには長期間必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。

4 障害者スポーツの推進

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・県下の競技団体について、バレーボールの他、しっかりしたものがない。 ・障害者の環境づくりとあるが、スポーツの楽しさ等に気づいていない人も多い。高齢者も含めてスポーツのすすめ、掘り起こし等から着手しては。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもがスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ体験や教室等の情報について、様々な媒体を通じ、積極的な発信に努める。 ・柱2の4に、「観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出」項目を追加。スポーツを楽しんでいると感じるきっかけをつくる。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツの団体数などを指標に加えてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標への追記は見送り。今後、国スポ・全スポ開催に向け、競技人口や関わる人の拡大を図っていく。

【柱2 スポーツ振興を担う人材の育成】

全般

項目	意見概要	対応
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成は施設整備と比較して時間が必要。至急とりかかりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・全スポ開催に向け、スポーツ振興課人材育成係を中心に進め始めた。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に関連して、柱1や柱3の情報発信にも関連するが、柱2の人材育成にも関わって来る。その辺りの見せ方も課題では。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは学校部活動の受け皿となる外部団体の体制づくりを進める。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の「メタ認知」は普段の生活でも重要だが、スポーツと普段の生活の接点、関わりを教えられる指導者が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数を現計画の指標としており、今後も研修等を通じ、指導者の資質向上を図る。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や人材育成についてどれだけ県独自で取り組んでいるのが重要。 	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドクター等も前回国体から続けている人もおり、新しい人材も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の先生に起業してもらい、スポーツクラブを立ち上げてもらう、さらにはそのクラブを総合型地域スポーツクラブにして続けていく、といったことが考えられないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行を検討する中で、参考とさせていただきます。

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県にも強豪校があり、そういった人材を県立大学に推薦入学してもらおう等の対応も可能では。指導者育成にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティア登録者数は参考になるのでは。スポーツボランティアの定義はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定義について明確に定めているわけではないが、スポーツの運営を支える人という意味で使用している。 ・新たな指標として、スポーツボランティア登録者数を追加している。

2 指導者やマネジメントの育成

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく体を動かせるよう、プレイヤーの育成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学にも目を向けるべき。根性論ではなく、人を育てるのが上手な人、人の気持ちが分かる人など、人として素晴らしい人を発掘するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者の研修等を通じ、指導者の資質向上を図る。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレチックトレーナーの育成が必要。例えば、選手として活躍した人材がアスレチックトレーナーとなり、スクールトレーナーとして働く等、アスリートのセカンドキャリアにも役立つのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。

3 サポート体制の整備

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア」と一言でいっても、スポーツに関わっていない人もいる。一方、奈良マラソン等ではそういった人も給水や受付等で活躍可能。「スポーツボランティア」という言い方になると限定的になる。発信の仕方が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き県民だより等でボランティアについて内容の周知を図り、募集を行う。
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰制度が(2)に位置することに違和感がある。具体的内容を見ると栄誉賞の授与等のため、「支える」と「競技力向上」が混在しており整理しては。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績優秀者への表彰と、地域スポーツの普及に貢献された方への表彰とを分けて記載。(柱2-2-(3)と、柱2-3-(2))

(3)	・スポーツマネジメントができる人材育成について、県立大学に専攻科をつくってもらいたい。	・今後の参考とさせていただきます。
(3)	・スポーツマネジメントができる人材育成は重要課題。総合型クラブにも必須の人材。育成は子どものころから考えるべき。(指標もつけるべき)	・今後の参考とさせていただきます。
(4)	・アスリートのセカンドキャリアについて、定住できるシステムや働ける環境等を確保していく必要がある。	・自治体や企業の役割を整理することが必要。
(4)	・アスリートのセカンドキャリアについて、様々な取組を進めており、一緒に取り組める要素があれば紹介願う。	・ご協力をお願いしたい。
(4)	・トップアスリートは、これまでと違った形でスポーツの普及や健康増進に役立つことができる。	・これまでからご協力いただいております、引き続きお願いしたい。
(4)	・仕事としてのセカンドキャリアについて、自治体で解決するのは不可能では。情報集めはできるが、違う形でキャリアを形成していくのは相当難しい。	・今後の参考とさせていただきます。

4 健全性・安全性の確保

項目	意見概要	対応
(1)	・ガバナンスコードやコンプライアンスについてもしっかり取り組むことが重要。	・総合型地域スポーツクラブをはじめ、スポーツ団体によるガバナンスコード検討の取組を支援。

【柱3 スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進および地域の活性化】

全般

項目	意見概要	対応
指標	・施策指標(例)(特に新たな指標)の「参加者数」について、国スポに向けての準備もあり、現状値と今後5年でどう増やしていくのか検討が必要。	・具体的な施策について今後検討を進める。

1 施設の整備

項目	意見概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもが遊べる環境づくりも重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば健康パークの機能強化等で進めている。 ・今後のスポーツ施設整備においても、参考とさせていただきます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県のスポーツ施設について、国スポに向けて建替え等を進めているが、不足している。 ・国スポだけでなく、後に県民が使いやすい施設になっているか考えて計画案をまとめることが大切。 ・また、施設を使いたくても使えない人もおり、マッチングが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、橿原市や磯城郡3町（川西町、三宅町、田原本町）を中心に、検討を進めている。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・前回国体のレガシーで奈良のスポーツシーンが続いている面もある。 ・国スポは施設整備のチャンスでもある。コロナに強い施設整備や総合型地域スポーツクラブの運営や部活動地域移行等にも関連付けて考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスポーツ施設整備において、参考とさせていただきます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災」を入れるなら柱3では。 ・例えばコミッションに絡めてはどうか。近年、スポーツと防災で地域の活性化に取り組んでいる地域がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柱3-1-(1) 拠点的なスポーツ・健康づくり施設の整備において、新たなスポーツ施設に防災機能を充実していく計画となっており、施設運営においても、必要に応じ民間事業者と連携し、地域の防災拠点としての機能を果たしていく。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車や散歩等一人で取り組むスポーツがあるが、人とのコミュニケーションが生まれる休憩所等も必要では。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設整備と併せて検討したい。
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ある自治体から相談を受けたが、小学校のプールは民間のスイミングスクールの施設を借用することで、年中利用、安全性確保につながるのでは。発想の転換が必要。 ・撤退したスーパー跡で体操クラブ等が活動しており、民間と連携してスポーツができる場を確保していくことも可能では。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイミングスクールを含め、民間スポーツ施設を活用したスポーツ推進について検討します。

項目	意見概要	対応
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や小学校等の体育館は活用可能では。横浜では学童保育の児童を対象にテニスを教えている。指導者育成も兼ねた施設活用を検討しては。 ・学校施設の有効活用が必要。特に小学校はコミュニティの中心になっており利用しやすいはず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公民館や学校の体育館など、今あるものをフレキシブルに利用できないか。 ・既存施設の利用について、取組方の多様性も認められることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村の役割を整理し、学校施設も含めて公共施設の活用を今後検討する。

2 情報発信

項目	意見概要	対応
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル空間で様々な大学が連携し医科学的なシステムを構築し、レガシーとして残していけないか。 ・バーチャルの取組を含め、奈良県立医科大学スポーツ医学研究センターとの連携等、情報の集約に取り組んでいってもよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。

4 地域経済活性化

項目	意見概要	対応
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・南東部では自転車レース等のイベントが行われており、それらを伸ばしていったらどうか。奈良県は自転車が強くメッカになり得るのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県の地形は自転車に適している。ピワイチ、アワイチ、サドイチがあり、ナライチがあってもよいのでは。自転車ツーリズムができる整備を進めてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考とさせていただきます。